

愛知大学法学部

法經論集

第177号

 論 説

- 行政主体間の争訟と地方自治
 ——逗子市米軍住宅追加建設訴訟を契機として——
 山本 未来 1
- 契約締結交渉の不当破棄における責任(2)完
 久須本 かおり 63
- 日本国憲法における国際協調主義の今日的意義
 小林 武 352
- 共同正犯の誤想について
 ——その可罰性に関するドイツの議論を素材に——
 岩間 康夫 125

研究ノート

- 人間の尊厳と人間の生命をめぐる最近のドイツの議論(四)完
 西野 基 継 320

翻 訳

- 平等をめざす、いわゆるバブーフの陰謀(九)
 フィリップ・ブオナローティ著 296
 田中正人[訳]
- 〈出家〉をめぐる詩(二篇)
 ——ルネサンスにおける〈政治的〉修道士の胎動(1)——
 ジョーラモ・サヴォナローラ著 236
 須藤 祐 孝[訳・註解]
 フィリッポ・ミニエーニ[協力]
- ヨルク・パウル・ミュラー『スイス基本権原論』(八)
 (Jörg Paul Müller: Elemente einer schweizerischen Grundrechtstheorie. Bern 1982.)
 小林 武 190

法学会記事

 2008年8月

愛知大学法学会